

LaIT プライベートイーサ 後継サービスのご案内



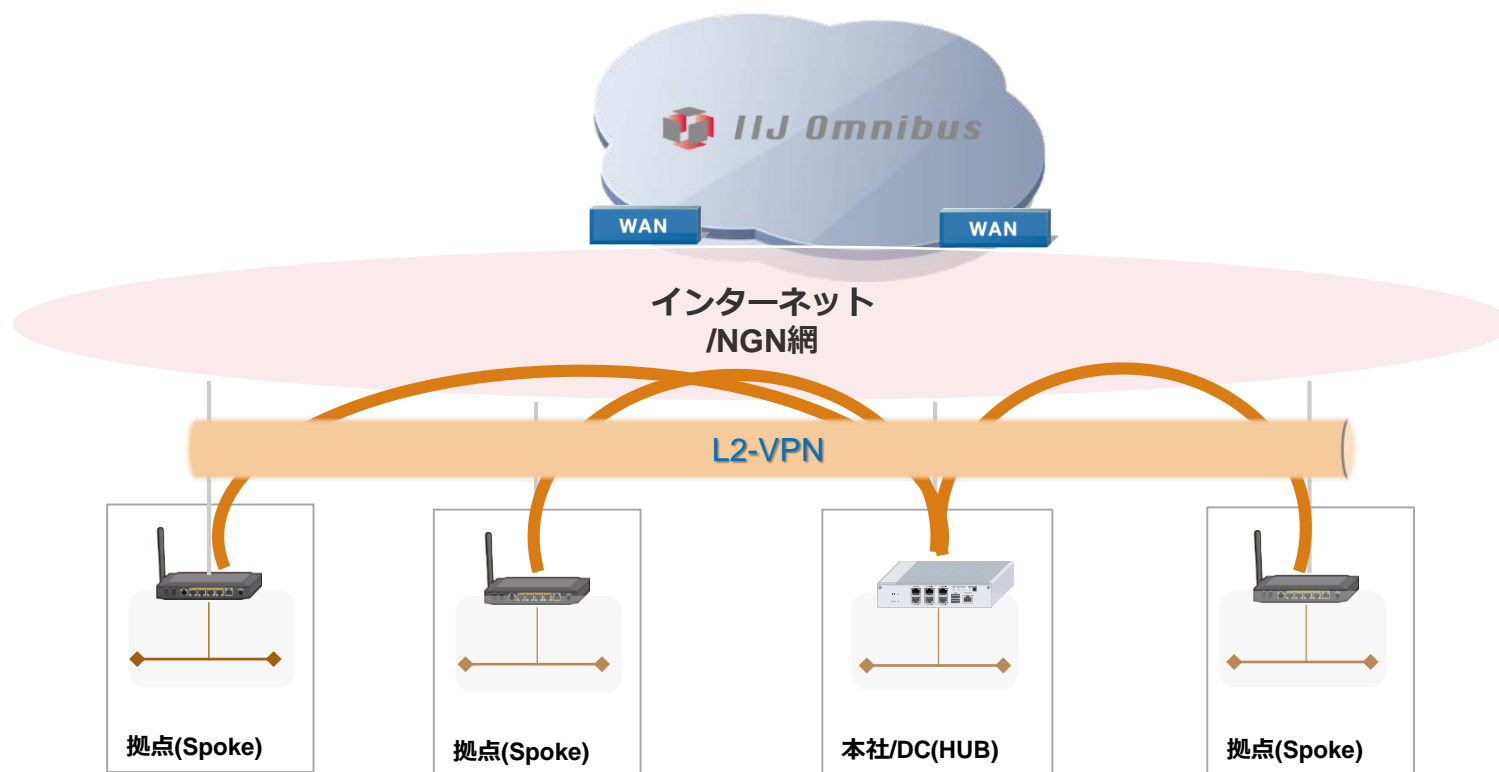
株式会社インターネットイニシアティブ
LaIT サポートセンター
TEL : 03-5205-4570
Mail : support@la-it.jp
受付時間 : 9:30~17:30 (土日祝日、年末年始除く)

1. 後継サービスのご紹介
2. LaIT プライベートイーサと後継サービスの違いについて
3. 後継サービスへの移行のための手続きについて
4. 後継サービスへの移行作業について

1. 後継サービスのご紹介①

後継サービスは、 「IIJ Omnibusサービス WANユニット/L2-VPN」です

IIJ Omnibusサービス用のサービスアダプタ（LaIT プライベートイーサのサービスアダプタは利用できません）を各拠点に設置し、HUB - Spoke型の L2-VPN を構成します。






MAC Address及び、VLAN TAGの変換は行いません
異なるVLAN IDを利用している場合でも、拠点間で同一のMAC Addressはご利用いただけません

1. 後継サービスのご紹介②

IIJ Omnibusサービス用のサービスアダプタが必要です

HUB用はBPV4を利用します。Spoke用はBPV4かSA-W2を利用します。

提供機種	BPV4	SA-W2
用途	HUB ・ Spoke	Spoke のみ
外観イメージ		
寸法 (W×D×H)	194mm × 283mm × 44mm (ゴム足部分を除く)	200mm × 145mm × 35mm (アンテナ、ゴム足部分を除く)
本体重量	約1.9kg	約420g
サービス提供ポート数	VPN 1ポート (10/100/1000BASE-T, Auto) LAN 1ポート (10/100/1000BASE-T, Auto)	VPN 1ポート (10/100/1000BASE-T, Auto) LAN 1ポート (10/100/1000BASE-T, Auto)

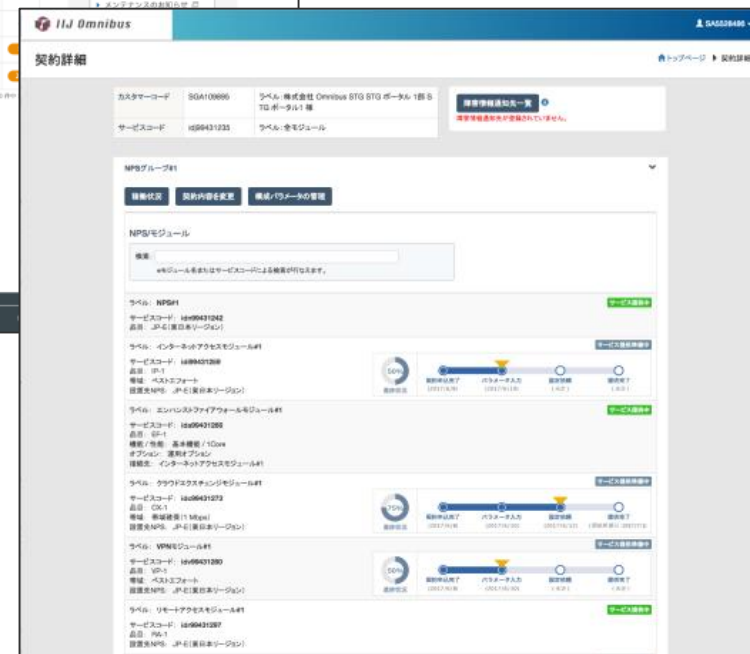
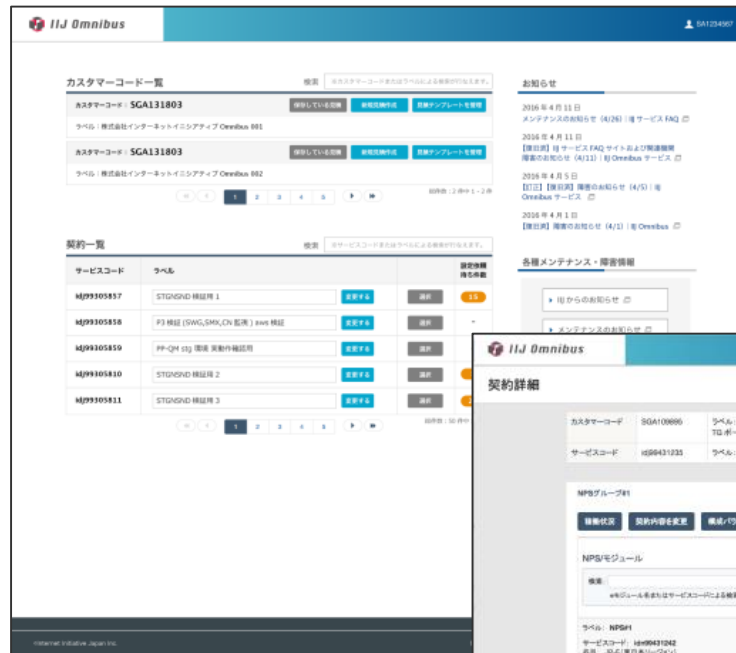
 BPV4、SA-W2いずれもLAN側は1ポートのみです。LaIT プライベートイーサでSEIL/X1のLAN2ポートにルータやHUBなどが接続されている場合、つなぎ替えが必要です。

1. 後継サービスのご紹介③

IJ Omnibus ポータルで設定登録などを行います

ポータルサイトで、設定の登録、稼働状況までを一元管理できます。

- デリバリ状況の確認
- トラフィックの確認
- CPU負荷の確認
- メモリ使用率の確認
- 拠点の接続ステータスの可視化
- 監視停止設定の投入



2. LaIT プライベートイーサと後継サービスの違いについて①

サービスの比較

サービス名	< 終了するサービス > LaIT プライベートイーサ	< 後継サービス > IIJ Omnibusサービス WANユニット/L2-VPN
サービスアダプタ	SEIL/X1	BPV4, SA-W2
接続サービス	LaITプライベートイーサに含まれています	別途ご契約が必要です (IIJ FiberAccess/Fサービス等)
VPN構成	メッシュ構成(論理構成はHUB-Spoke)	HUB-Spoke構成
最大拠点数	10拠点	HUB:1拠点、Spoke:64拠点
利用可能 アクセス回線	NTT 東日本・西日本：フレッツ光ネクスト Qtnet：BBIQ	NTT 東日本・西日本：フレッツ光ネクスト Qtnet：BBIQ CTC：コミュファ 他社DHCP回線(IPv4)
アダプタ監視	24時間365日の自動監視	同左
サービス管理UI	LaIT プライベートイーサ コントロールパネル	IIJ Omnibusポータル
障害窓口	24時間365日（アクセス回線部分除く）	同左
故障時駆け付け	平日2時間(休日4時間)以内駆けつけ目標 アダプタ交換を実施	平日休日ともに4時間以内駆けつけ目標 アダプタ交換を実施
サービス料金	初期費用 30,000円/拠点 月額費用 8,900円/拠点 ※NTT等のアクセス回線費用は含みません	初期費用 5,000円~/拠点 月額費用 8,000円~/拠点 ※インターネット接続、NTT等のアクセス回線費用は含みません

3.後継サービスへの移行のための手続きと作業について

後継サービスへ移行される場合は、以下の手続き・作業が必要です

